

IPW緩和ケアコース 多職種協働事例検討研修

北信がんプロ科目-単位申請対象セミナー

日時 2024.7.13(土) 13:00-16:00

5.11(済)/9.21/11.9/1.11/3.8 (全6回)

申込 長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードからお申し込みください。その際に、申込みフォームお問合せ欄に、**第何回を受講されるかを記入**してください。(例：全回希望、第1、2回希望など)



第2回 7.13(土) 『倫理ジレンマ』

事例 Aさん(85歳女性)は造血幹細胞腫瘍(MDS)で7年前から治療を受けてきた。近年急激に認知症が進み、抗がん剤を点滴していることを認識せずに動いたり、なぜ病院にいるのか理解できない様子である。家族は「治療を」と要望あり、医師は信頼に応えたいと思っている。スタッフから疑問視する声が出てきた。

講師 国立がんセンター東病院 精神腫瘍科医 榎戸正則氏



第1回 5.11(土) ケミカルコーピング

事例 痛みの訴えと易度性が高くなっている。これは医療用麻薬の依存症？

第3回 9.21(土) コンフリクト

事例 BSCを告げる時、激しい「怒り」で、治療継続を求める患者家族

会場 オンライン (ZOOM)

対象 医師・看護師・MSW・薬剤師など

第4回 11.9(土) 倫理ジレンマ

事例 AYA患者の治療拒否 家族は治療希望で医療者間でも意見が分かれて…

第5回 1.11(土) コンフリクト

事例 BSC(死)が直視できず 終末期の過ごし方の話ができない

第6回 3.8(土) 多問題家族

事例 一人親家庭の親が終末期となった。子どもには、病気の話をしていなくて…